

日 時	令和 7 年 11 月 27 日（木） 10:00～11:30 第 2 回経営会議
出席者	平原副市長、伊地知副市長、鈴木副市長、技監、総務局長、財政局長、脱炭素・GREEN×EXPO 推進局長、市民局長
欠席者	佐藤副市長、政策経営局長、港南区長
議 題	4 横浜国際プールの次期指定管理者選定方法について【にぎわいスポーツ局】
議 事 要 旨	<p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜国際プールの現指定管理期間は令和 8 年度末となっています。次期指定管理者選定（通常 5 年間）は、令和 9 年度中に契約締結を予定する再整備事業スケジュール等を踏まえ、現指定管理者を次期指定管理者候補として非公募（1 年間）での選定を進めます。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜国際プールは、PFI での事業実施に向けた手続きを進めており、令和 9 年度中に契約予定である。令和 10 年度以降、PFI 事業者が工事に着手予定であり、工事エリアと運営エリアを一体的に対応する想定である。一方で現行指定管理は令和 8 年度末までとなっており、令和 9 年度の 1 か年の施設運営を行う指定管理者の選定が必要である。 ・ 公募実施した場合の事業者不在による施設閉館のリスク及び PFI 事業への円滑な移行による市民サービス水準の維持の観点から、公募を行わないことはやむを得ない考える。 ・ なお、透明性を確保するため、指定管理者選定評価委員会での審査を行う。 <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PFI による整備については、入札不調等により当該指定管理の非公募期間が複数年に渡るということがないようにスケジュール管理や事業費の精査をおこなうこと。 <p>【結論】 <u>局案について了承</u></p>